



トライエスプログラム®

ウェルポート株式会社 本社営業所

2018年2月度 教育研修記録簿

作成者：株式会社アスア 澤木 洋臣

1.実施概要

- 開催日 : 2018年2月10日(土)
- 開催時間 : 10時00分～18時00分
- 開催場所 : 本社 2F
- 実施者 : 株式会社アスア 澤木 洋臣
- 参加状況 : 30名/38名 (参加率：78.9%：別紙参加者リスト参照)
- 安全12項目 : 「健康管理の重要性」
- 教育区分 : **安全** 環境 労務 その他 ()

2.目標と進捗

- 目標
 - ① 事故撲滅

■ 進捗

No.	目標や課題		対応方法および進捗状況
①	目標	事故撲滅	2017年の9月～11月にかけて事故が多く発生してしまい、すべて道路上での事故となっていたため、2018年の2月にMTGを実施し、気持ち新たに業務に取り組んでいただけるように周知しました。
	課題	-	

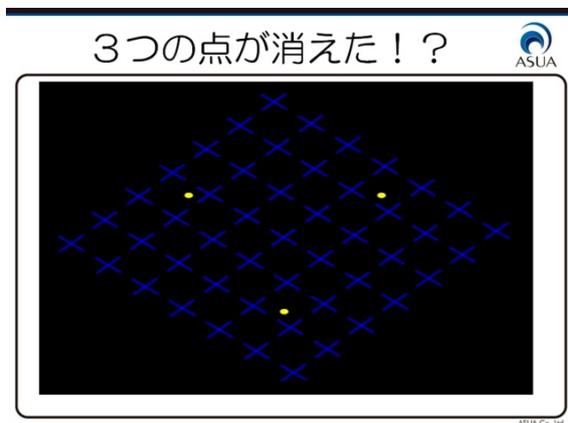
3.乗務員ミーティング

■ 議題テーマ：「贖いの日々」

- ① 燃費報告
- ② 事故報告（2017年10月以降のもの）
- ③ 贖いの日々
- ④ 周辺視野
- ⑤ 安全12項目①

■ 今回のポイント

交通刑務所に勾留されている方が書かれた「贖いの日々」を読んでいただき事故を起こした時の怖さを感じていただき、改めて自分の運転を振り返っていただきました。また、運転中のわき見について、目の錯覚や中心視野周辺視野をご理解いただき、危険性についてお伝えしました。



安全12項目

項目別
健康管理の重要性

【指導及び監督指針：国土交通省マニュアルより】
心身の健康は、安全な運行のための基本であることを運転者が自覚できるよう、日頃の健康管理を心がけていくことの大切さを徹底して指導しましょう。
運転者の疾病や心の病気が交通事故の要因となる恐れがあるとの理解を促し、疾病、運転中の体調の異常等を必ず「申告」するよう指示しましょう。また、心の病気のサインを見逃さないよう、自ら、または周囲の状態を気づかうことの大切さについても指導しましょう。

◆身体面の健康管理

運転者の疾病により交通事故が発生する恐れがあります

事故事例

- 47歳の運転手が運行中、「脳梗塞」を発症し、合流する側道から右折レーンまで飛び出し8台の自動車と接触した
- 51歳の運転手が運行中、「高血圧性脳出血」により意識を失い、公営住宅の壁に接触、停車しているところを符受けた現場担当者が発見した

◆運転中に「体調」の異常を感じた時、無理に運行を続けると非常に危険です！
◆無意識のうちに重症障害などが発生する場合があります。
持病がある場合は医師の診断を受け、薬が処方されたら「**規則通り**」に服用しましょう

健康診断
再検査

■ 参加者コメント（抜粋）

<贖いの日々について>

- ・ 現実、このような話があるといかにトラックが怖いものかを改めて感じる。もっと気を付けて運転しようと思う。
- ・ 明日は我が身。被害者の方の気持ちを考えると何とも言えない。
- ・ 言葉にできないくらい怖い

<わき見について>

- ・ 実際は、運転中にスマホをチラッとみることがある。
- ・ 運転中は様々なものに注視してしまうので、タイミングを考えて確認するようにしたい。

■ 所見

昨年末に事故が多発しました。
今回「贖いの日々」を読むことで、改めて事故の怖さを感じていただき自分の運転を振り返っていただくことができたかと思えます。

4.管理者ミーティング

- 開催日 ：
- 開催時間 ：～
- 参加者
- 欠席者
- 議題 テーマ「」

- 議事録

- 所見

5.その他

■ 連絡事項

自社ミーティングの議事録を修正いたしました。
メールにて共有させていただいておりますので、ご確認と運用をお願い致します。

■ 配布資料

- ① 9月議事録、出欠簿
- ② 車両配置一覧（2月）
- ③ 安全12項目教育資料①
- ④ トライエス通信（40部）

■ 実施状況写真



■ 次回ミーティング日時

- ・乗務員ミーティング 次回は平成30年5月を予定しています。
- ・管理者ミーティング 次回は平成30年5月を予定しています。

～今月もお疲れさまでした。次月もよろしくお祈いします～